

相生っ子

○本年度の相生教職員のめあて
一児童が主役の学校づくりと
ICT 活用による学びの充実



令和3年7月6日 相生小学校 校長室だより

第13号 文責：岩佐隆之

ジャンケンにジャンプ。朝から元気になった体育集会。体操のお兄さん登場？

25日（金）朝のスマイルタイムは2回目の体育集会。相生小の体操のお兄さん？の進行で、全身を使ったまねっこ遊びやジャンケン、ジャンプで、いっぱい体を動かした相生っ子。朝から元気になりました。先生方が、子どもたちと一緒に楽しんでいるのもうれしい光景です。私も1回転ジャンプをしましたが、1回転したと思っているのは自分だけで・・・でも、相生っ子の笑顔を見ていると、気分だけでも若返ります。幸せな仕事です。



相生っ子に話したこと「一つ一つの動作を丁寧に」そして、「もの、自分、友達を大切に」に

朝のあいさつ運動は、自主的に参加する相生っ子が増え、どの子も「おはよう」の声が大きくなりました。帰りに、子どもクラブやバスに向かう「さようなら」の声も大きくなっています。また、相手を意識した言葉づかいや積極的な発表ができる子も増えてきました。

さて、今、相生っ子に気をつけてほしいことが二つあります。一つ目は、「一つ一つの動作を丁寧に」することです。本校の伝統として、行事での礼は、『おはようございます』の後に頭を下げる」というのがあります。靴やトイレスリッパをそろえることも同じです。そうすることで、心が落ち着き、しっかり話も聞け、冷静な行動ができるようになって考えています。発表する時の「はい、～です。」等の話し方や聞き方、ノートの書き方等の「学習ルール」も、さらに身につくよう指導していきます。

もうひとつが、「もの、自分、友達を大切にする」ことです。例えば、靴のかかとを踏んでいる子がいます。勉強をすぐ投げだそうとする子がいます。友達が嫌がるような言動をする子がいます。その子なりの理由はあるのですが、面倒くさがったり、自分勝手だったり、面白半分だったり、弱い立場の子をからかっていたりしている場合も見られます。学校でも、日常の声かけや指導だけでなく、道徳や人権学習で心を耕し、学級会やスマイル集会等で相生っ子の絆を深めています。



楽焼きでは、個性的な作品ができました。2学期に色をつけ、焼き上げます。

25日（金）は、三井教材さんに教えていただきながら、楽焼きを作りました。2年に1度の楽焼き。入れ物や動物、家族へのプレゼント等、思い思いの作品を仕上げました。二人の我が子の楽焼きは、今も庭の花壇に置いています。見る度に、相生っ子だった娘、息子を思い出します。

（裏面もご覧ください。）

かくし芸の披露や作品の相互発表。今年も始まった「平谷小との Zoom 交流」

「ともに相生中に入学する仲間を知ろう」と5年前から始まった「平谷小との Zoom 交流」。今年も学期に1回、全学年で行います。1学期の交流では、1年は朝顔の紹介としりとり、2年は朝のリズムと校歌の歌唱、3年は楽しいダンスとクイズ、紙コップの演奏、4年は作った新聞の発表とクイズ、5年は合奏会、6年はかくし芸の披露でした。平谷っ子は、各学年1~3人。家族のように仲がよく、すべきことはきちんとする習慣がついています。互いのよさや個性を認め合いながら、相生中では一緒に仲良く学んでほしいと願っています。



月に1回、先生方が「朝会の話」をします。1学期は喜多先生、川邊先生でした

月曜朝は、第1週は体育館での朝会、第2週は「お話玉手箱」による読み聞かせ、第3週は Zoom での朝会で、1・3週は私が話をしています。第4週は、「先生方からの話」です。先生方にも、相生っ子に自分の思いを語ったり特技を披露したりしてほしいと思い、今年から始めました。

5月は喜多先生が Zoom を使って、トランプマジックを披露（私の音声が混ざって、聞き取りにくかったようです。ごめんなさい。）した後、トランプの数字の意味について話しました。ハート等の4種類のマークは四季を、1枚のカードは1週間を表し、それぞれの季節は年13週あり、 4×13 で52週。7日 \times 52週で364日、ジョーカーを入れて365日になるそうです。深い意味があったんですね。

6月は川邊先生。「『かもしれない』を合い言葉に、安全な生活をしよう」と、普段から「車が飛び出してくるかもしれない」「友達とぶつかるかもしれない」と考えて過ごすことの大切さについて、話しました。「子どもにケガはつきもの」とはいえ、大けがや相手を傷つけることはさけないものです。楽しい雰囲気の中でも、「危険予知の力」をつける重要性をわかりやすく伝えていました。

3週間の教育実習を終えた蔭野さん。町内の学校での勤務を待っています

25日（金）で、教育実習が終わった蔭野結菜さん。朝のあいさつ運動や休み時間にも、笑顔で子どもたちとふれ合い、真摯に保健実習にも取り組んでいました。23日（水）は、4年生での評価授業「手の洗い方について考えよう」。子どもたちの名前をしっかりと覚え、ブラックライトを使って手の洗えていないところを照らす工夫をする等、子どもたちの関心を高める授業内容でわかりやすかったです。今後、町内で養護教諭としてご勤務されることを楽しみにしています。



24日（木）、教職員対象に阿南署の方による不審者対応訓練を行いました。

校舎に不審者が侵入した想定での訓練。わかっていることとはいえ、緊張感が走りました。毅然とした態度で接し、すぐに110番通報をすること等を教えていただきました。

（裏面もご覧ください。）